



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2017 年 5 月報

- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「明日に向かって、今日動こう」
- 北東部長主題 「明日のために、いま土台を築こう」
- クラブ会長主題 「笑顔で今活動を」～出愛・ふれ愛・学び愛～

会 長 吉田一恵
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 田中京子
 メネット会長 田村成子
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意してみなさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。」

マタイによる福音書 第6章27節～29節

5月の例会

日 時 : 5月16日(火)

19:00~21:00

会 場 : 仙台YMCA会館 会議室

内 容 : 「言葉の力・生きる力」

フリーアナウンサー 渡辺祥子さん

司 会 : 今澤智代

食前感謝 : 佐々木絹子



巻頭言「ワイズの例会」

田村 治之

ワイズメンズクラブに入会して 33 年目になります。昨年は体調が思わしくなく、クリスマス例会に一度出ただけでした。昨年の2月から3月迄、入退院の繰り返しでしたが幸いにも命にかわりませんが、病の恐ろしさが身に滲みた一年でした。その分メネットがメンである私の分までクラブのために頑張ってくれたのではないかと感じております。

また、度重なる入退院で健康な時には感じなかったのですが、会社を守り家庭を守り、その合間を縫って忙しい中、毎日のように病院へ足を運び、私を励まし看病してくれたことは本当に有り難く迷惑をかけたなと家族に感謝致しております。

今年もお花見の頃を迎え、体調も完全とは言えませんが、大分回復したと思っております。体調の良い時は例会にも出席したいと思っております。

以前から言われて来た事ですが、例会の出席者が固定してきているのでは、と思っておりますが、それはそれなりにミッションが同じ人の集まりであると理解して、メンバーの心が一つになれば良いのでは、と思っております。

4月例会報告

在籍者	18名
出席者	12名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	1名
メネット・コメント	2名
出席率	66.7%
ニコニコ	14,000円

先日の役員会でメネットアワー四月のお花見例会は、メネットと田中ウイメンの担当と云う事もあってか、我家で行う事が決まり、皆様に久しぶりに逢えることを楽しみにしておりました。メネットと私も微力ながら一週間位前から準備をし、その日に備えておりました。

当日は久しぶりの岡さん御夫妻を始め、ゲストには佐藤潔子さん、クラブ役員の方々を含め15名の出来事でした。

私は居ながらにして皆様にお会い出来、大変幸せを感じました。そして会員皆様の元気な様子、数々のアトラクションが行われお花見例会がパーティーの様に感じられました。

私も田中ウイメンの指名でスピーチの機会を与えられ、故佐々木清メン、吉田重夫メン、佐藤克郎メン、今澤ウイメンの主人の懐かしい思い出話を語らせていただきました。きっとこの賑やかな例会と一緒に参加して楽しんでくださったのでは、と思っています。今後どの位クラブに参加できるかわかりませんが、気力体力を整え、長く続けていけることを願う昨今です。

4月例会報告

日 時：2017年4月18日（火）18：30～20：30

会 場：田村ワイズメン（仙台市青葉区）ご自宅にて

出席者：今澤・岡・岡メネ・小幡・工藤・鈴木・佐々木・田中・田村・田村メネ・永井・中川・横倉・吉田

ゲスト：佐藤潔子さん

内 容：今回は田村ご夫妻のご厚意により、ご自宅の客間と和室を開放し、会場を設定して頂きました。

司会は田中ウイメン、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条と続き、会長挨拶ではいつもの例会会場との雰囲気違ってか「たくさん話したいことがあったのですが、緊張して頭から飛んでしまいました。」と述べられ、雰囲気に押された様子でした。

ゲストは準メネット会員の存在の佐藤潔子さん、煮豆持参です。岡メネットの食前感謝により乾杯！お花見弁当を開封するも、別皿には次々とメネット、ウイメンからの差し入れが盛られ、お弁当には中々箸が入りません。家主の田村メンからご挨拶、少しセンチな思いがあるようで、これまで亡くなられたワイズの仲間の思い出を一人一人語られた。岡メンからは「今年で15年婚になります」と語られると、拍手…、すかさず小幡メンから「私も同じです」と、すると私は何年婚、私は大根、私はレンコン…と、しばし盛り上がりました。

ひとしきり飲食の後、新沼謙治・作詞作曲『ふるさとは今もかわらず』を、潔子さんのリードにて、全員で合唱“♪さわやかな 朝もやの中を～”と、心ひとつに…。

会場の田村宅の改装を担当した永井メンから、この場所は「I N A X - E R I X I L のリフォームコンクールに於いて、最優秀賞を戴いた部屋です」と紹介があり、天井から床まで残したい素材を配置、施主の思いを汲み、真剣勝負で創意工夫を凝らしました、と細部に渡り説明された。尚、私ごとになりますが「3年前に離婚し、このたび26歳のパートナーと結ばれ、新しい命も生まれました。」とサプライズ？の発表もあり、一同驚きました。「お幸せに、頑張っ！」の声…。

閉会挨拶は今澤さん「私がワイズに入会したきっかけも、この田村宅でした。ワイズのお話を伺い、何も分からずに入会する、と言ってしまうました。田村ご夫妻に感謝します。沢山の差し入れにも感謝でございます。これからも皆さんで頑張っていきましょう。」と述べられた。ニコニコ14,000円。



5月の強調月間「EF」「JEF」

「EF」(Endowment Fund)とは国際ワイズダムの発展のための特別の基金です。個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔関係などのおり、寄付金を国際協会に送金して積み立てます。US\$120以上の寄付の場合、寄付者名と記念すべき事業等を国際が永久保管する「ゴールデンブック」に記帳されます。国際にはこの基金の推進委員会があり、東日本区では国際・交流事業主任がその推進を担当する。

「JEF」(Japan East Y's Fund)とは東日本区ワイズ運動の継続的奉仕活動を支えるための基金です。個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔時等の時の拠金が基になっている。寄付者名とその理由を「奉仕帳」に記帳し永久保存されます。

名古屋グランパスクラブ被災地応援ツアーに同行して

吉田 一恵

名古屋グランパス被災地応援ツアーは4月8日(土)から4月10日(月)までの3日間の日程でした。名古屋グランパスクラブ8名、名古屋クラブ2名、鳥取クラブ1名、東稜クラブ3名、姫路グローバルクラブ3名の総勢17名のご一行様で、村井伸夫仙台YMCA総主事、仙台青葉城クラブの加藤重雄会長と加藤真子メネット、石巻広域クラブの日野峻副会長と清水弘一会計が3日間同行し、仙台青葉城クラブの金原道子メネット会長と私は最終日10日のみでしたが同行しました。



矢本の航空自衛隊松島基地では基地の任務としてパイロット養成として戦闘操縦課程の操縦教育及びブルーインパルスによる展示飛行を行っている。このほかに民間航空機や漁船などの遭難事故にあったときの捜索や救助、更に風水害による災害を受けた地域への救助に出動し、患者や物資の空中輸送などの支援を行っているお話、また震災時の基地の様子、救助活動等の映像も見せていただき、更にバスに乗ったまま基地内の案内もしていただきました。

昼食後、震災前は仙石線の野蒜駅が、現在は3.11の震災の教訓の館、野蒜復興伝承館として姿を変えていました。津波の被害の爪痕の凄さを改めて思い知らされました。その後、松島の瑞巖寺へ、ここでは境内のそれぞれの部屋を稲富住職にご案内して頂き、障壁画に感動、それぞれの部屋の造り、室内への入り口を画す唐戸や欄間の総透かし彫りの彫刻などの素晴らしさに感動の連続でした。それから、



4階の屋上に避難し児童・教員と避難した住民は12日の夕方までに全員救助された、海から700mにある荒浜小学校は校門からだけの見学でした。大勢の人が津波の犠牲になった浜辺の荒浜の慰霊碑に立ち寄り手を合わせて、3日間の被災地応援ツアーを終えて名古屋空港、伊丹空港へ向うご一行を仙台空港で見送りました。名古屋グランパスクラブ被災地応援ツアーご一行様に感謝いたします。

16-17 北東部第三回評議会報告

横倉 純

4月22日(土)13時~とちぎYMCAの2階講堂にて、北東部の第三回評議会が開催されました。仙台クラブからは吉田会長、横倉書記の2名が出席。仙台広瀬川クラブの及川会長、加藤書記、門脇会計の3名と、計5名が私の中古車、ニッサンセレナに同乗し、加藤、横倉が交代で運転、いろんな会話を楽しみながらの往復になりました。

今回も前橋、会津の両クラブが欠席となりましたが、議決権者数50名中19名出席、委任状21名、

オブザーバー1名で会は成立しました。

長岡部長報告では、第二回評議会の後に「飯館村の母ちゃんたち」の上映会を行ったこと、2月には宇都宮にてユースリーダーズアクト「福島支援、今、私たちの求められること」について学習を行ったこと、東日本区定款改訂が最終段階に入ったこと、などが報告された。

出席の部事業主査、及び各クラブ会長からは前回評議会以降の活動報告がなされ、特に石巻広域クラブの



広範囲な活動が印象に残りました。若干の休憩を挟んだ後、協議に入り、1号議案は継続案件となっている「北東部バナー作成について」討議されましたが、今回も結論に達せず継続案件となりました。(北東部の分割、などもささやかれており・・・) 2号議案では、こちらも継続案件となっている「部運営体制・部長選任方法について(みちのくエリア・北関東エリアを設ける)」を討議、部の分割意見と相まって、賛否両論が交わされ、再度各クラブに持ち帰り、意見を集約し次年度の評議会にて協議することとなる。尚、部長選任については、北関東エリア、みちのくエリアから、それぞれ交互に担当することが確認された。菊地東日本区会員増強事業主任の講評を受け、北東部の歌を斉唱し16時過ぎに会が閉じられた。

評議会終了後は恒例の夢庵にて懇親会が持たれ、いつものように飲食代は各自注文した分を負担するという明朗会計により、散会となる。

わたしの好きな言葉 「一日一生」

佐々木 絹子

一日は短き一生涯、朝起き、昼働き、夜は復活の希望を抱いて眠る。1年365回の生涯あり、楽しく思う。神様の命を守り、世がいかに成り行こうが、人が自分をどう思おうが、いかんせんともすることのできない自分。正義ありのままを實行し他は全て神様に任すまで。これすなわち幸福の生涯の秘訣。(内村鑑三先生の文章より抜粋) 私も日々この様にあります。

4月第2例会報告

日時：2017年5月2日(火) 19:00~20:40

会場：仙台YMCA会館 会議室

出席者：鈴木・田中・田村メネ・中川・横倉・吉田

- ① 5月例会は、フリーアナウンサーで朗読家の、渡辺祥子さんを招きスピーチをして頂くことを確認する。演題は「言葉の力・生きる力」。
- ② 6/3(土)4(日)に川越で開催される第20回東日本区大会には今澤、横倉、吉田の3名が登録済。
- ③ 6/11(日)仙台YMCAバザー(永井実行委員長)の第1回実行委員会の内容を確認、販売計画書を5/18までに提出のこと。第2回委員会は5/10(水)に行われる。
- ④ 「石巻広域ワイズメンズクラブ」1周年記念例会。日時：5/27(土)17:00~19:30 会場：石巻グランドホテル 会費：3,000円 参加希望者は5/20(土)まで、横倉ドライバーへご連絡願います。
- ⑤ 4/22(土)に宇都宮で行われた第3回北東部評議会報告があり、みちのくエリア&北関東エリアの2ブロック制にし、部長を交互に選出することが決定された旨周知された。
- ⑥ 5月東日本区ニュース(理事通信)の内容を確認した。
- ⑦ 次年度ロースター(ワイズ会員名簿)の1次校正を行った。尚、訂正を要する方がおられましたら、例会への出欠連絡と併せ、横倉ドライバーまでお知らせ下さい。
- ⑧ 6月例会は例年にならない、会場を移し一年間の活動のねぎらいの会とする。

